

3 市民アンケート結果の概要

(1) 市民アンケート調査の実施

① 調査目的

本市のまちづくりに関する現状の評価や今後のまちづくりについての意見を聴取し、本マスタープラン改定の参考とするため、市民アンケートを実施しました。

② 調査期間

令和2年8月28日～9月11日

③ 調査の対象及び回収状況

対 象：市内在住の18歳以上の市民

配 布 数：3,000票（無作為抽出）

回答方法：郵送，インターネット

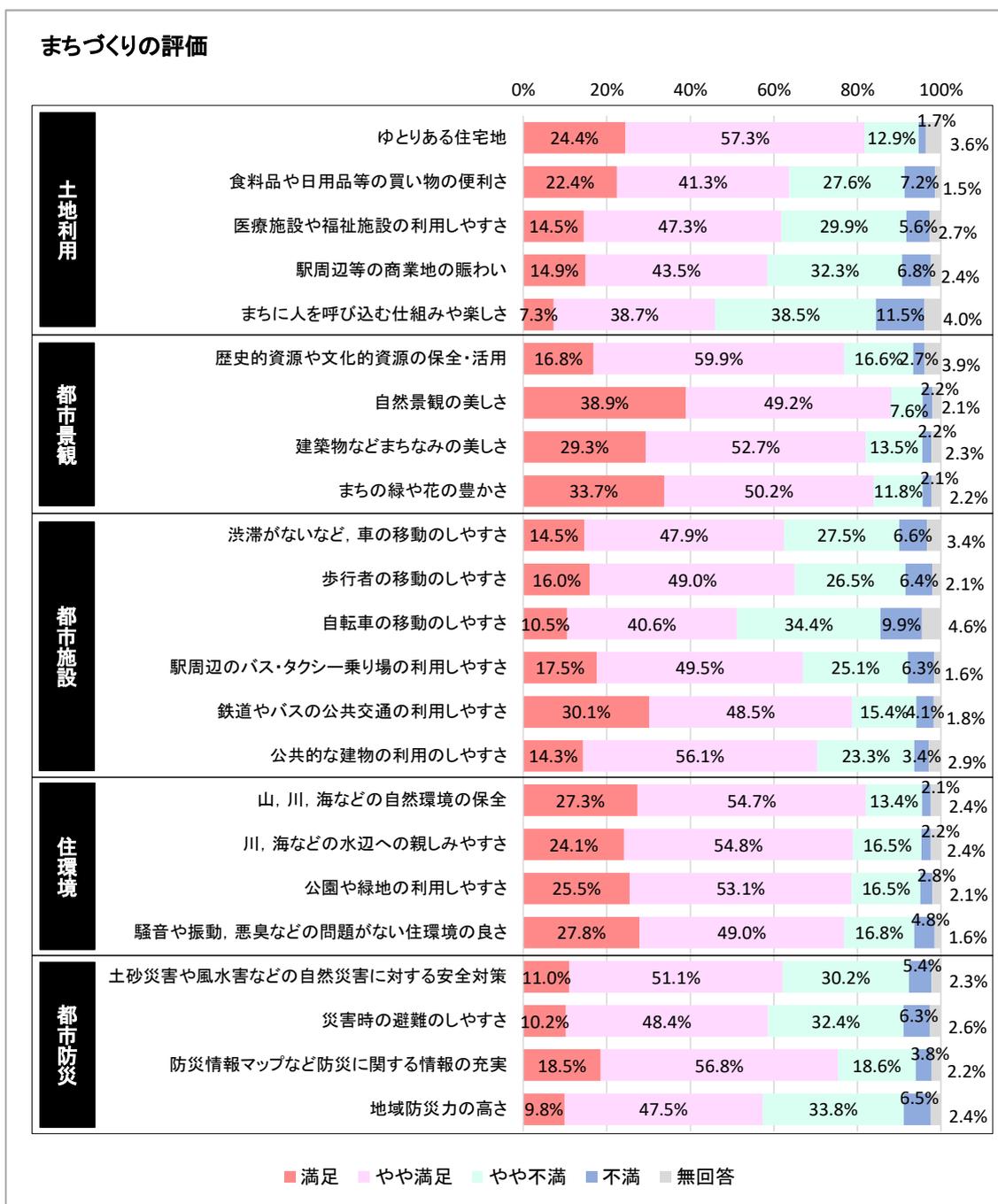
回 収 数：1,403票

回 収 率：46.8%

(2) 市民アンケート結果の概要

◆まちづくりの評価（市全体の評価）

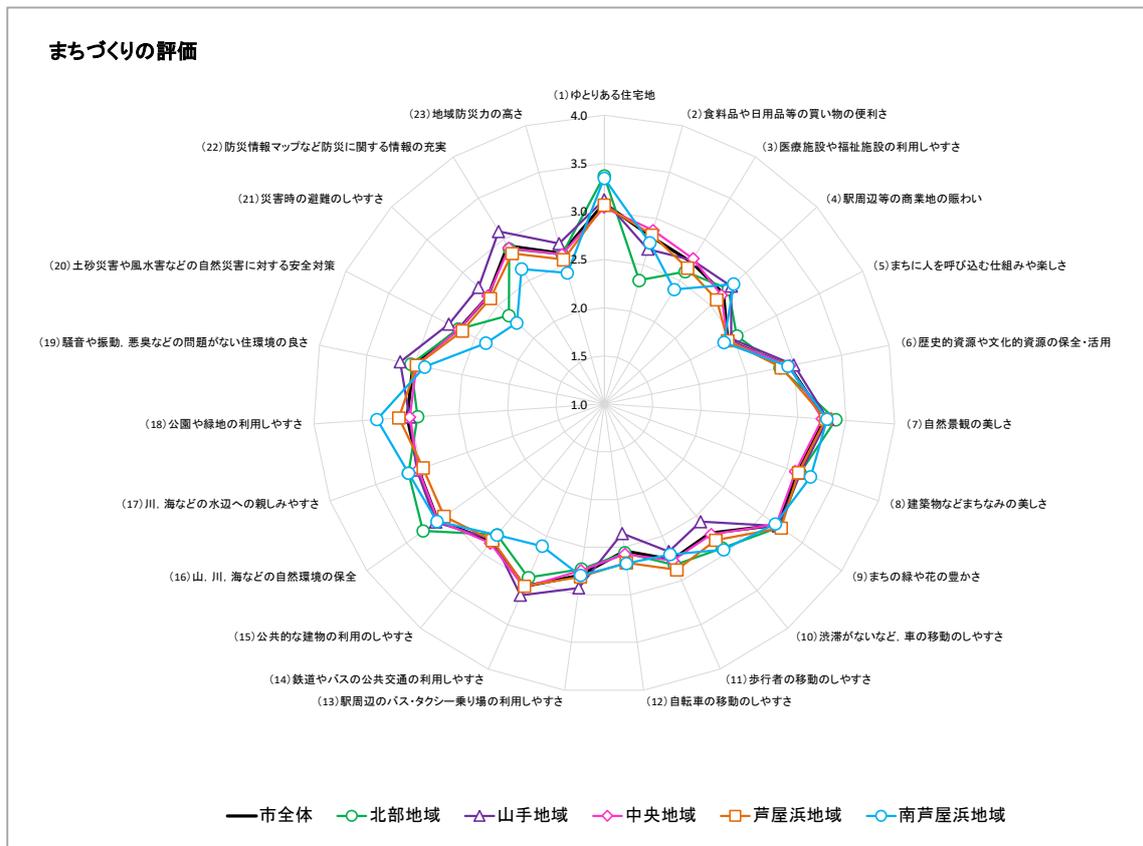
・まちづくりへの評価（「満足」「やや満足」の割合の合計値）は、「自然景観の美しさ」（88.1%）、「まちの緑や花の豊かさ」（83.9%）、「建築物などまちなみの美しさ」（82.0%）、「山、川、海などの自然環境の保全」（82.0%）など、景観、自然や緑への評価が高くなっています。



(回答者数 1403)

◆まちづくりの評価（地域別の評価）

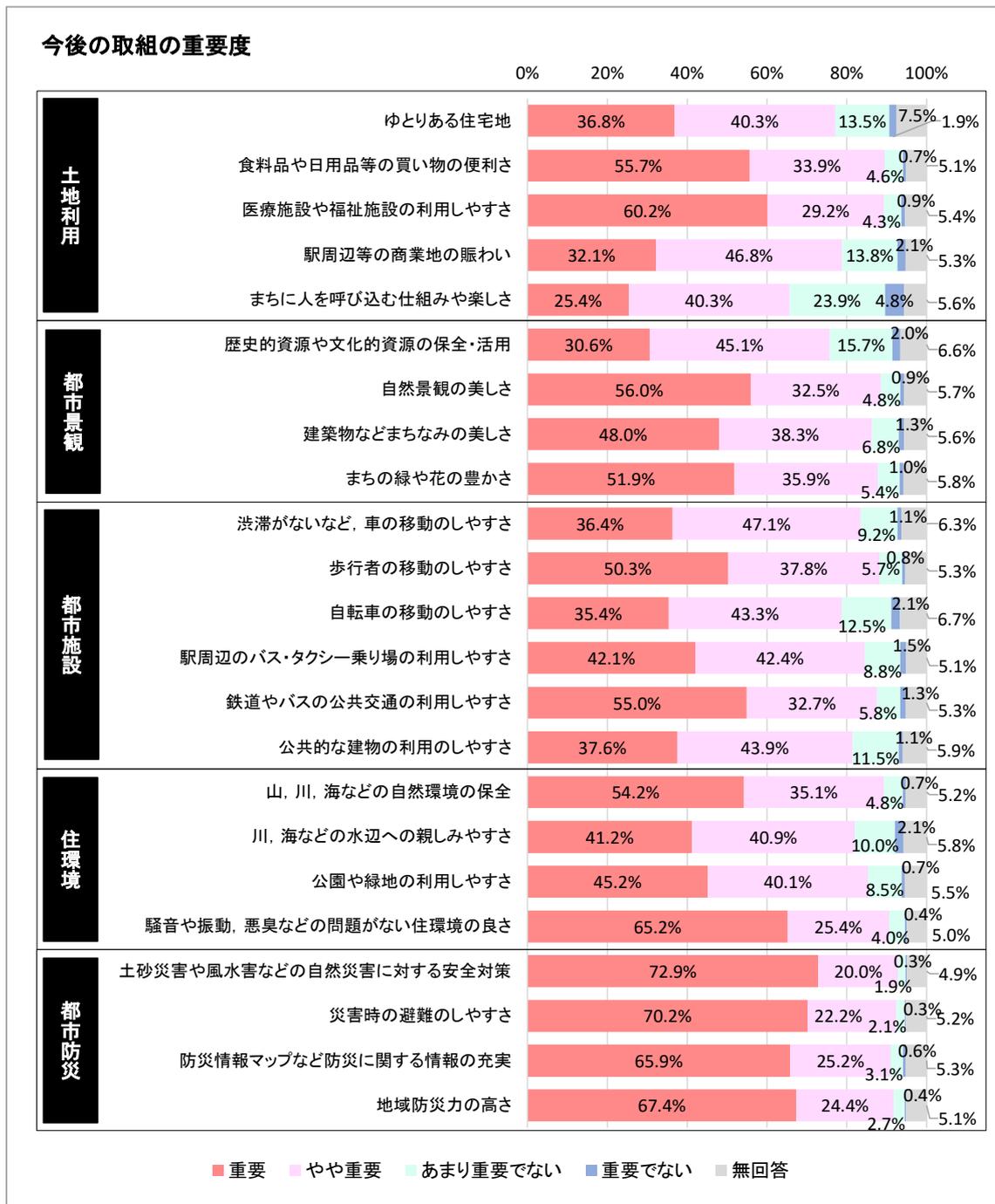
- ・北部地域では、「自然景観の美しさ」、「ゆとりある住宅地」、「山、川、海などの自然環境の保全」の評価が高くなっています。
- ・山手地域では、「自然景観の美しさ」、「まちの緑や花の豊かさ」、「鉄道やバスの公共交通の利用しやすさ」の評価が高くなっています。
- ・中央地域では、「自然景観の美しさ」、「まちの緑や花の豊かさ」、「山、川、海などの自然環境の保全」の評価が高くなっています。
- ・芦屋浜地域では、「自然景観の美しさ」、「まちの緑や花の豊かさ」、「建築物などまちなみの美しさ」の評価が高くなっています。
- ・南芦屋浜地域では、「公園や緑地の利用しやすさ」、「ゆとりある住宅地」、「自然景観の美しさ」の評価が高くなっています。
- ・市全体との比較では、北部地域は「ゆとりある住宅地」、「渋滞がないなど、車の移動のしやすさ」、「山、川、海などの自然環境の保全」の評価が、南芦屋浜地域は「公園や緑地の利用しやすさ」、「ゆとりある住宅地」、「渋滞がないなど、車の移動のしやすさ」の評価が、市全体よりも高くなっています。



- ・このグラフでは、5地域（北部地域、山手地域、中央地域、芦屋浜地域、南芦屋浜地域）と市全体との「まちづくりに関する評価」を相対的に比較したものとなります。
- ・グラフ作成にあたっては、各項目に対する得点（満足4点、やや満足している3点、やや不満である2点、不満である1点）を合計し、各地域の有効回答者数で割り戻した値を算出しています。

◆今後の取組の重要度（市全体の評価）

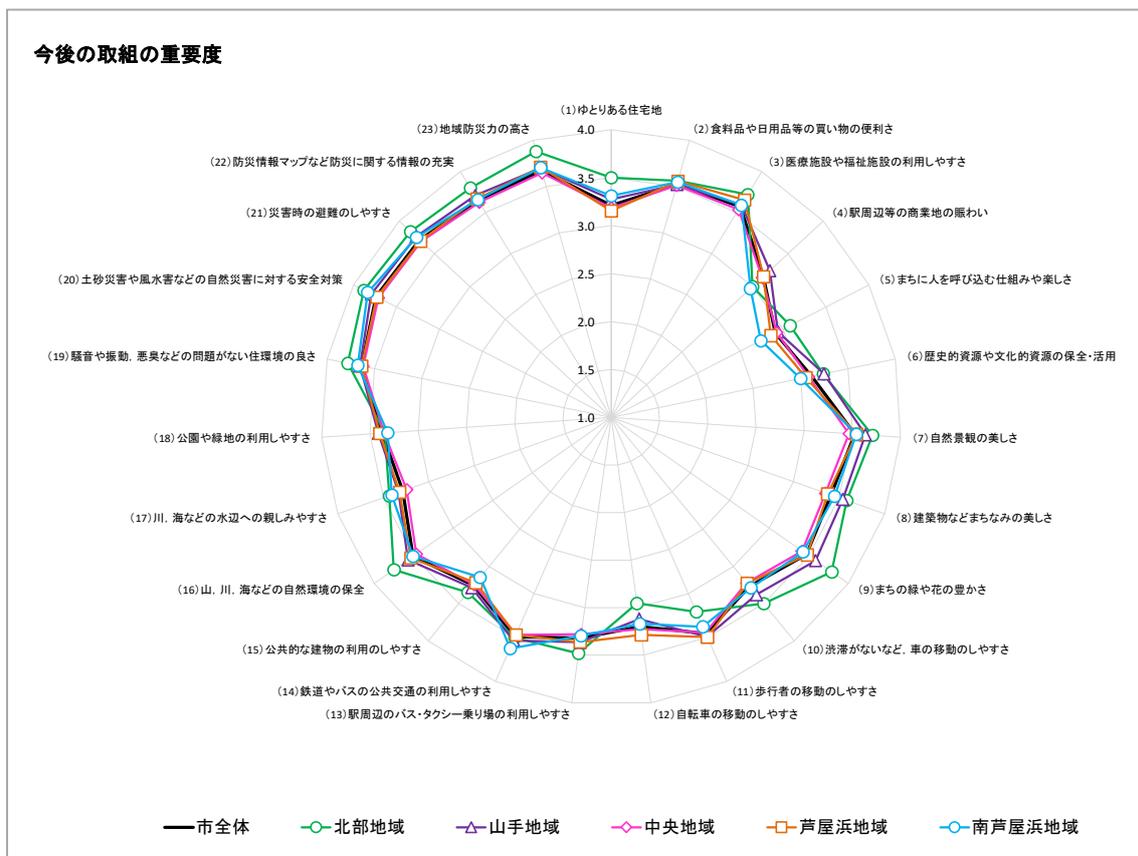
- ・今後の取組の重要度（「重要」「やや重要」の割合の合計値）は、「土砂災害や風水害などの自然災害に対する安全対策」（92.9%）,「災害時の避難のしやすさ」（92.4%）,「地域防災力の高さ」（91.8%）など、防災に関する取組への重要度が高くなっています。



(回答者数 1403)

◆今後の取組の重要度（地域別の評価）

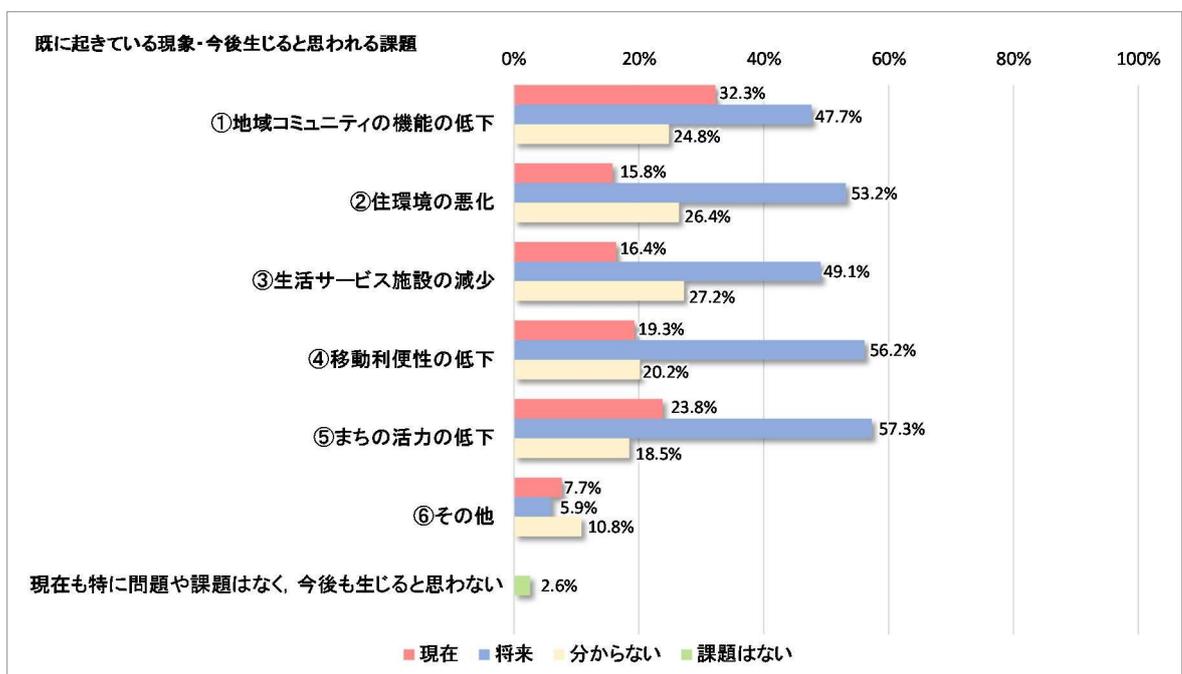
- ・北部地域では、「土砂災害や風水害などの自然災害に対する安全対策」、「地域防災力の高さ」、「災害時の避難のしやすさ」の重要度が高くなっています。
- ・山手地域では、「土砂災害や風水害などの自然災害に対する安全対策」、「災害時の避難のしやすさ」、「防災情報マップなど防災に関する情報の充実」の重要度が高くなっています。
- ・中央地域では、「土砂災害や風水害などの自然災害に対する安全対策」、「災害時の避難のしやすさ」、「地域防災力の高さ」の重要度が高くなっています。
- ・芦屋浜地域では、「土砂災害や風水害などの自然災害に対する安全対策」、「地域防災力の高さ」、「災害時の避難のしやすさ」の重要度が高くなっています。
- ・南芦屋浜地域では、「土砂災害や風水害などの自然災害に対する安全対策」、「災害時の避難のしやすさ」、「地域防災力の高さ」の重要度が高くなっています。
- ・市全体との比較では、北部地域は「まちの緑や花の豊かさ」、「ゆとりある住宅地」、「山、川、海などの自然環境の保全」の重要度が市全体よりも高くなっていますが、その他の地域については、概ね市全体の傾向となっています。



- ・このグラフでは、5地域（北部地域、山手地域、中央地域、芦屋浜地域、南芦屋浜地域）と市全体との「まちづくりに関する評価」を相対的に比較したものとなります。
- ・グラフ作成にあたっては、各項目に対する得点（重要4点、やや重要3点、あまり重要でない2点、重要でない1点）を合計し、各地域の有効回答者数で割り戻した値を算出しています。

◆既に起きている現象・今後生じるおそれのある課題

- ・既に起きている現象は、「①地域コミュニティの機能の低下」(32.3%) が最も割合が高く、次いで「⑤まちの活力の低下」(23.8%)、「④移動利便性の低下」(19.3%) となっています。
- ・将来的に生じると思われる課題は、「⑤まちの活力の低下」(57.3%) が最も割合が高く、次いで「④移動利便性の低下」(56.2%)、「②住環境の悪化」(53.2%) となっています。
- ・既に起きている現象よりも将来的に生じると思われる課題に対する割合が高くなっています。

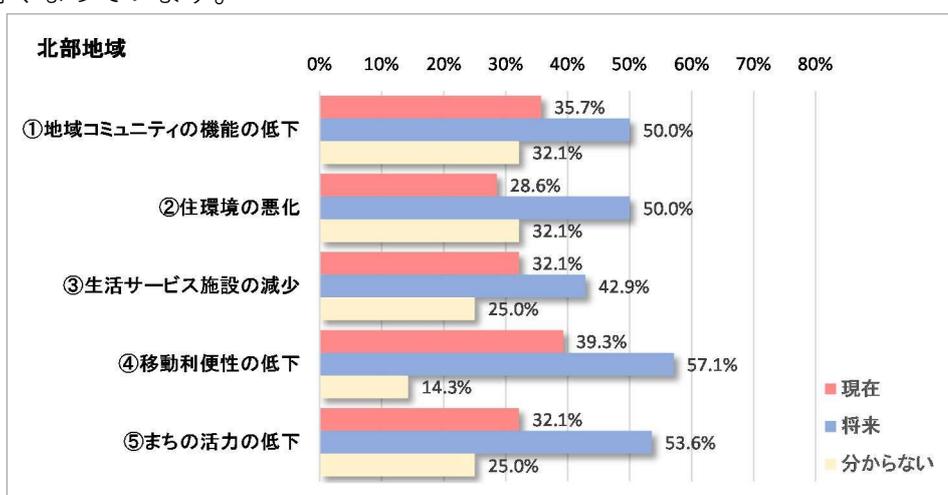


(回答者数 1403)

◆既に起きている現象・今後生じるおそれのある課題（地域別の結果）

<北部地域>

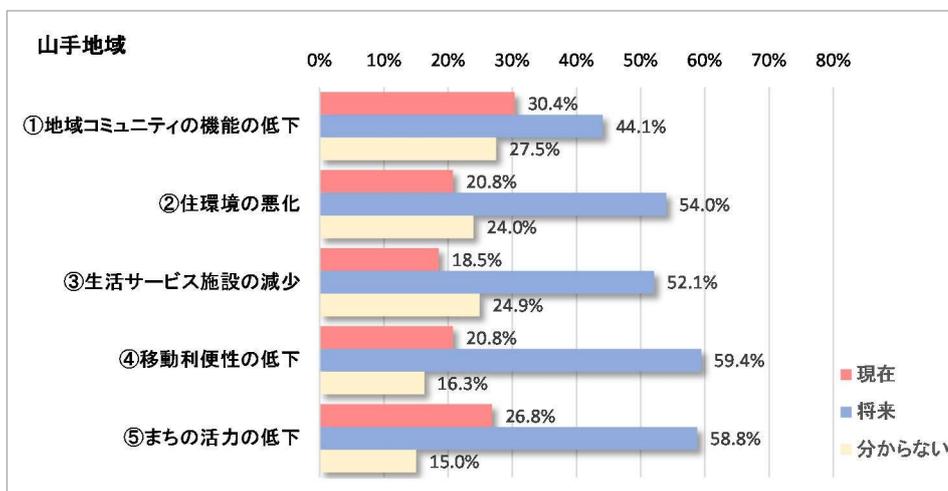
- ・現在起きている課題は、「④移動利便性の低下」(39.3%)、「①地域コミュニティの機能の低下」(35.7%)、「③生活サービス施設の減少」(32.1%)「⑤まちの活力の低下」(32.1%)が高くなっています。
- ・将来生じると思われる課題は、「④移動利便性の低下」(57.1%)、「⑤まちの活力の低下」(53.6%)、「①地域コミュニティの機能の低下」(50.0%)、「②住環境の悪化」(50.0%)が高くなっています。



(回答者数 28)

<山手地域>

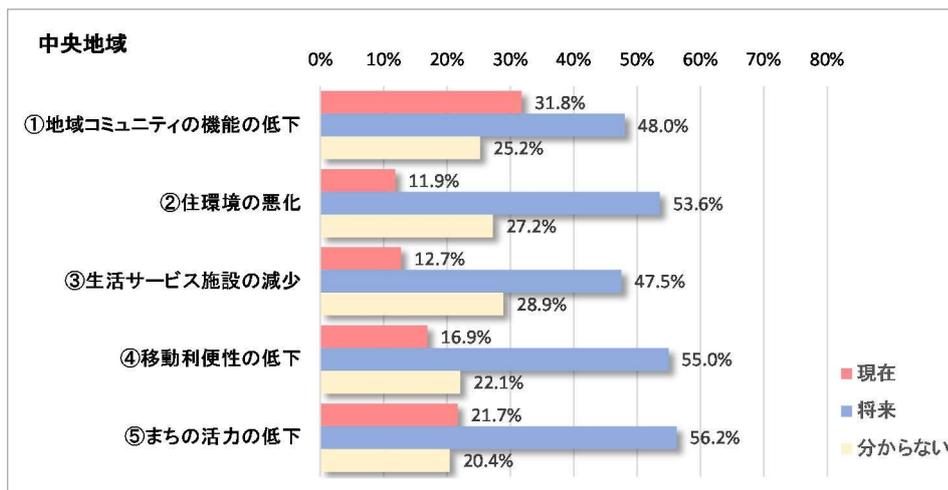
- ・現在起きている課題は、「①地域コミュニティの機能の低下」(30.4%)、「⑤まちの活力の低下」(26.8%)、「②住環境の悪化」(20.8%)、「④移動利便性の低下」(20.8%)が高くなっています。
- ・将来生じると思われる課題は、「④移動利便性の低下」(59.4%)、「⑤まちの活力の低下」(58.8%)、「②住環境の悪化」(54.0%)が高くなっています。



(回答者数 313)

<中央地域>

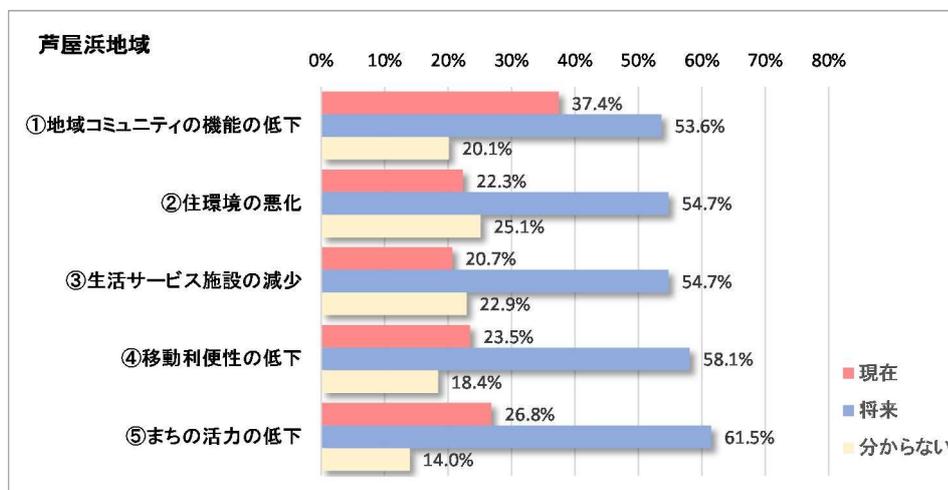
- ・現在起きている課題は、「①地域コミュニティの機能の低下」(31.8%)、「⑤まちの活力の低下」(21.7%)、「④移動利便性の低下」(16.9%)が高くなっています。
- ・将来生じると思われる課題は、「⑤まちの活力の低下」(56.2%)、「④移動利便性の低下」(55.0%)、「②住環境の悪化」(53.6%)が高くなっています。



(回答者数 793)

<芦屋浜地域>

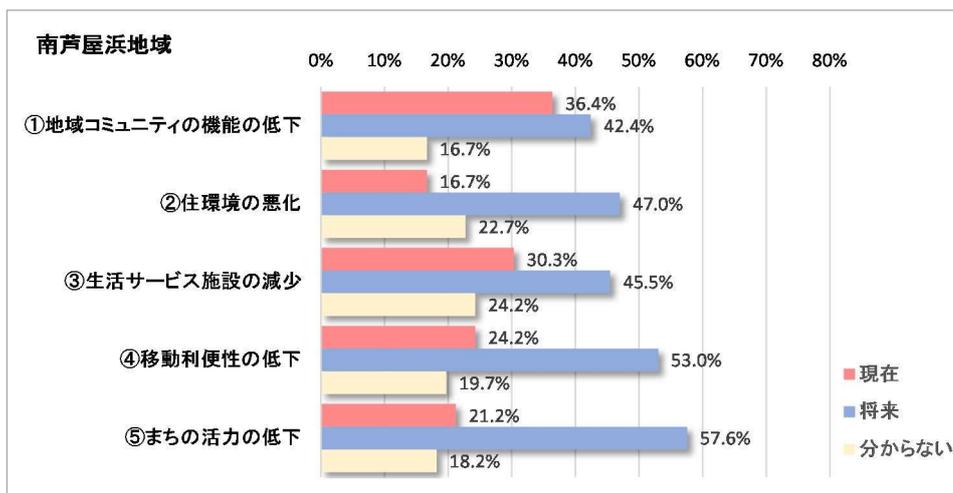
- ・現在起きている課題は、「①地域コミュニティの機能の低下」(37.4%)、「⑤まちの活力の低下」(26.8%)、「④移動利便性の低下」(23.5%)が高くなっています。
- ・将来生じると思われる課題は、「⑤まちの活力の低下」(61.5%)、「④移動利便性の低下」(58.1%)、「②住環境の悪化」(54.7%)、「③生活サービス施設の減少」(54.7%)が高くなっています。また、全ての項目で5割以上となっています。



(回答者数 179)

<南芦屋浜地域>

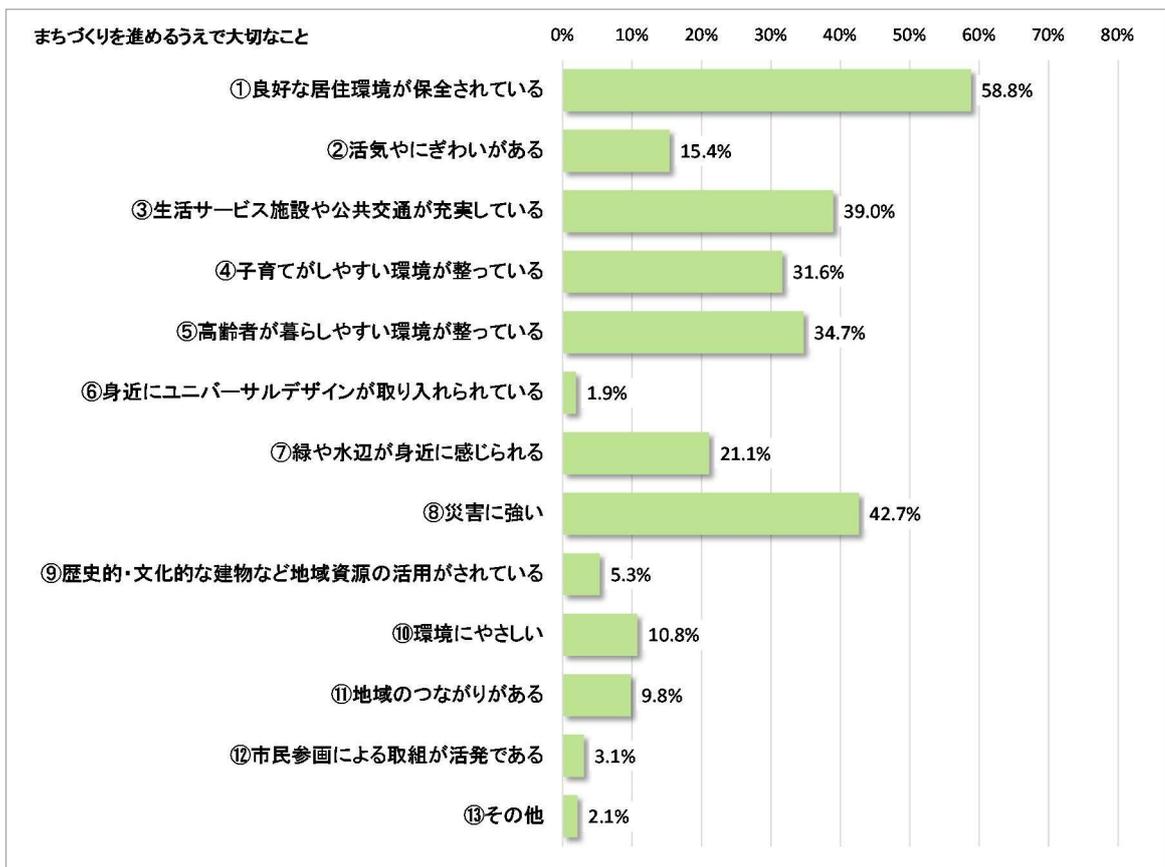
- ・現在起きている課題は、「①地域コミュニティの機能の低下」(36.4%)、「③生活サービス施設の減少」(30.3%)、「④移動利便性の低下」(24.2%)が高くなっています。
- ・将来生じると思われる課題は、「⑤まちの活力の低下」(57.6%)、「④移動利便性の低下」(53.0%)、「②住環境の悪化」(47.0%)が高くなっています。



(回答者数 66)

◆まちづくりを進める上で大切なこと

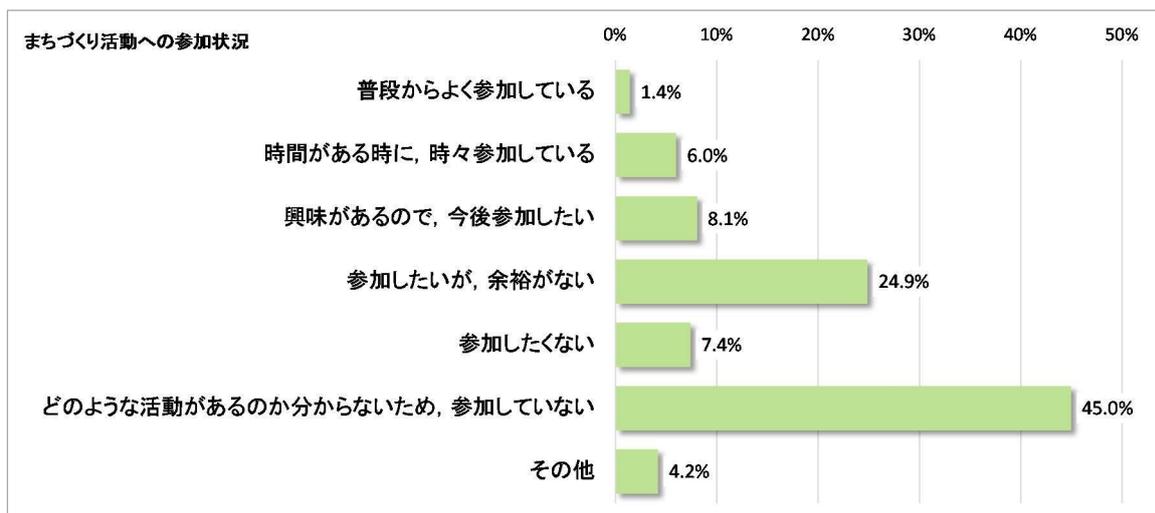
- ・まちづくりを進める上で大切なことは、「①良好な居住環境が保全されている」(58.8%)が最も割合が高く、次いで「⑧災害に強い」(42.7%)、「③生活サービス施設や公共交通が充実している」(39.0%)となっています。



(回答者数 1403)

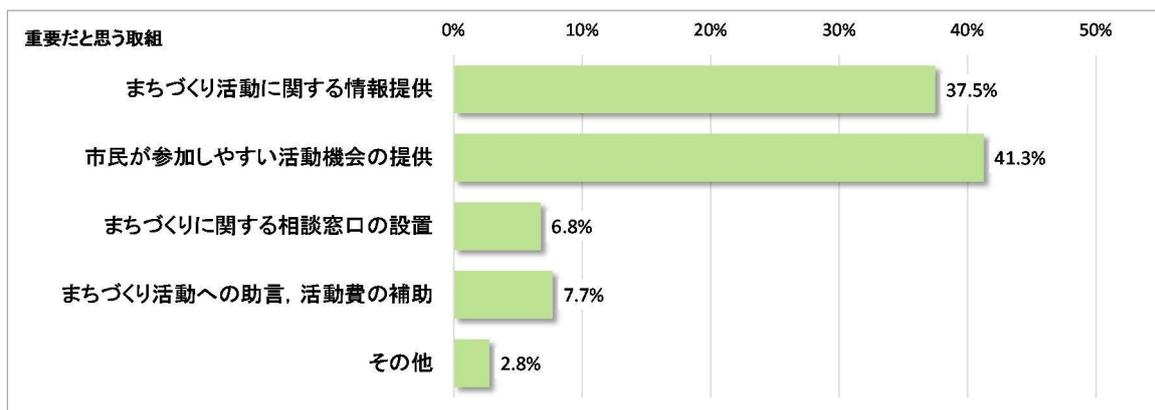
◆市民参画，協働のまちづくりの推進

- ・まちづくり活動への参加状況は、「どのような活動があるのか分からないため，参加していない」（45.0％）が最も割合が高く，次いで「参加したいが，余裕がない」（24.9％），「興味があるので，今後参加したい」（8.1％）となっています。



（回答者数 1403）

- ・協働のまちづくりを進めるために最も重要だと思うことは、「市民が参加しやすい活動機会の提供」（41.3％）が最も割合が高く，次いで「まちづくり活動に関する情報提供」（37.5％），「まちづくり活動への助言，活動費の補助」（7.7％）となっています。



（回答者数 1403）